

2025年11月13日

各位

会社名 岡 谷 電 機 産 業 株 式 会 社 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 高 屋 舗 明 (コード番号 6926 東証スタンダード市場) 問い合わせ先

常務執行役員 金丸 昌雄経営企画室長

(TEL 03-4544-7000)

第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2025年5月14日に公表した2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。また、2026年3月期通期連結業績予想並びに配当予想について以下のとおり修正したので、併せてお知らせいたします。

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2025年4月1日~2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回公表予想(A)	5, 300	△450	$\triangle 425$	△435	△19. 44
今 回 実 績 (B)	4, 981	△1,004	△981	△974	△43. 56
増 減 額 (B-A)	△319	△554	△556	△539	
增 減 率(%)	△6.0	_	_	_	
(ご参考) 前期第2四半期連結実績 (2025 年3月期第2四半期)	4, 536	△898	△813	△798	△35. 70

⁽注) 1株当たり四半期純利益の算定に用いる期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託 財産として「株式会社日本カストディ銀行(信託E口)」が保有する当社株式が含まれています。

2. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益		
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭		
前回公表予想(A)	12,000	140	165	125	5. 59		
今回修正予想 (B)	11,000	△970	△945	△970	△43. 33		
増 減 額 (B-A)	△1,000	△1,110	△1, 110	△1,095			
增 減 率(%)	△8.3	_	_	_			
(ご参考) 前期連結実績 (2025年3月期通期)	9, 598	$\triangle 1,749$	△1,702	$\triangle 1,705$	△76. 24		

⁽注) 1株当たり当期純利益の算定に用いる期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)」が保有する当社株式が含まれています。

(差異の発生及び業績予想の修正の理由)

なう一時的な費用増加等により営業損失となりました。

当第2四半期(中間期)連結会計期間における主要な販売市場は、空調機器向けにおいて緩やかな回復基調が継続するとともに、車載関連向けは増加傾向で推移しています。一方、産業機器向けは長期化していた納入先における在庫調整が進展しつつあるものの、回復は想定よりもやや遅れており、厳しい環境が続いています。このような経営環境のなか、販売体制の強化を進め、新製品の拡販及び新規案件の獲得に注力し、受注高は前年同期比増加しました。しかしながら過年度において急激に増加した売上高の反動減の影響も残っており、本格的な受注の回復は遅れている状況です。営業利益については、コスト構造改革の推進や製品価格の改定を引き続き推進したものの、原材料調達コストの上昇やコンデンサ製品における新製品の立上げ並びに生産ラインの再構築にとも

これらの結果、当期第2四半期(中間期)の売上高及び各利益は期初予想を下回る結果となりました。通期につきましても、中間期の実績及び今後の見通しを踏まえ、売上高及び各利益は期初予想を下回る見込みであることから、業績予想を修正いたします。

(収益回復に向けた取組み)

当社は、足元の厳しい業績並びに事業環境の変化を踏まえ、2025 年度を構造改革徹底の1年としております。売上高の回復に向け、販売体制の見直し等により販売力、提案力の強化を進めており、空調機器、産業機器、車載関連等の注力分野を中心に成長基盤を強固なものにしてまいります。また、事業環境の変化への耐性を高め、安定した売上高成長を実現するために、新製品を軸に新たな販路拡大に注力いたします。収益性の改善については、不採算事業の見直しを進めるとともに、製品の統廃合、新製品への切り替え、価格改定を着実に進めてまいります。

コンデンサ製品における費用増加は、今後収束していく見込みであり、新たに構築した生産ラインの本格稼働とともに生産効率の向上、人員数の適正化を図ります。また、現在取り組んでいる材料変更やサプライチェーンの見直しを中心とする原価改善を加速してまいります。

3. 配当予想の修正

	1株当たりの配当金						
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間		
前回予想	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
(2025年5月14日公表)	_	_	_	未定	未定		
今回修正予想			_	0.00	0.00		
当期実績	_	0.00					
前期実績		0.00		0.00	0.00		
(2025年3月期)	_	0.00	_	0.00	0.00		

(修正の理由)

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つと位置付け、経営基盤の強化を図りつつ、業績、財務状況等を総合的に勘案し、配当金を決定しております。期末配当について、2025年5月14日公表時においては未定としておりましたが、業績予想の修正のとおり大幅な業績の落ち込みが見込まれることから、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。